

三つ目は「地産地消や環境を考慮した食育の推進」です。今後も地産地消を意識した「ふるさと給食」を継続するとともに、栄養教諭を中心とした食育を通じて残食を減らし、環境負荷の減少に努めます。また、経年により老朽化しつつある調理機器の計画的な更新を実施します。

信頼される学校づくりの推進

学校が「保護者や地域からの信頼」を構築するため、次の3点を重点に推進します。

一つ目は「地域に根差した学校づくり」です。学校と地域住民等が共に学校の運営に取り組むことができよう、全ての学校において実践しているコミュニティ・スクールの取り組みを、他の地域の好事例を参考にすることで見直しを図ります。

「地域でどのような子どもたちを育てるのか」という目標やビジョンを学校と地域が共有し、地域が自発的に学校にかかわりを持ちながら、教育活動に参画できる体制整備づくりに取り組めます。

二つ目は「新たな教師の学びの姿の実現」です。教師一人一人の専門

性を高めることはもとより、教師相互の協働的な学びを深め質の高い教育活動を推進するため、白糠町教育研究所による部会研修や研究発表会、各学校における校内研修等の充実、道内外の義務教育学校との情報交流や交流を図ります。また、教職員が子どもたちに向き合うことのできる時間の確保に努め、心身ともに健康で生き生きと働くことができる環境を整えます。

三つ目は「地域全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進」です。町の宝物である子どもたちが、安心して学べるよう、各家庭への入学支援金の支給と、給食費無料化の取り組みを継続します。

また、認定こども園による「アップローチカリキュラム」と小学校における「スタートカリキュラム」の連携により、幼児教育と学校教育の連携を充実し、0歳児から義務教育段階終了時の15歳まで、一貫した教育の連続性を確保するための取り組みを進めます。

白糠高等学校への支援については、高校の存続に向けた取り組みを強力に進めるため、これまでの取り組み内容の成果と課題を検証しながら、常に見直しを行います。特に町内か

スポーツ活動の振興

町民一人一人がスポーツ活動を継続的に実践できる「生涯スポーツ社会」の実現を目指すため、次の2点を重点に推進します。

一つ目は「生涯スポーツの充実」です。一人「1」スポーツを目指し、障がいのある人も健常者も一緒に活動できるスポーツなど、各種スポーツ教室の開催および情報提供を通じて、生きがいや楽しみとしての体力・健康づくりを推進します。

二つ目は「競技スポーツの充実」です。競技力の向上を図るため、S



誰もが気軽に楽しめるスポーツ「ボッチャ」の普及に取り組み、健康づくりを推進します

らの進学率を高めるため、小学校高学年の早い段階から、児童生徒や保護者へのPR活動に努めるとともに、進路指導の工夫改善を図ります。

3 社会教育の充実

豊かな心を育む生涯学習の推進

生活に潤いをもたらす生涯学習社会を実現するため、以下の2点を重点に実践します。

一つ目は「まちぐるみ運動の推進」です。三愛運動の効果的な普及・啓発活動を進めるとともに、まちづくりにつながる学習機会の充実を図り、各種団体等による活動の推進に努めます。

二つ目は「ボランティア活動の推進」です。ボランティア講師の発掘と活動の場の提供に努め、特に若い

EA（スポーツ国際交流員）を活用した町技スポーツの振興および各種団体の活動や大会出場を支援するとともに、低学年を対象としたスポーツ教室の開催などにより、競技人口の底辺拡大を図ります。

また、学校部活動の地域移行については、関係機関と連携を図り、地域の実態を踏まえた検討を行います。

社会教育施設の整備・充実

町民が安全・安心かつ快適に各施設を利用できるように、次の2点を重点に推進します。

一つ目は「施設の長寿命化を図る保全・管理」です。施設の適切な維持管理に努めるとともに、各種計画に基づき施設の長寿命化を図ります。また、社会福祉センターについては、施設整備に向けた検討を進めていきます。

二つ目は「利用の活性化を図る工夫・改善」です。多様なニーズに対応する文化施設の運営に努めるとともに、本年4月にリニューアルオープンする総合体育館をはじめとするスポーツ施設の一層のサービス向上と利用拡大に努めていきます。



久遠塾など白糠高校の魅力を町内外へ積極的にPRしてまいります

世代の講師を発掘し、コミュニティ・スクールや高齢者大学等での積極的な活用につけていきます。

社会教育活動の充実

家庭教育支援と青少年の健やかな育ちを願い、次の3点を重点に推進します。

一つ目は「家庭の教育力を向上させる支援の充実」です。教育の原点は家庭教育であることを踏まえ、各種団体と連携した多様な学習機会を充実させるとともに、家庭・学校・地域が一体となって、子どもの生活リズムを向上させる取り組みを進めます。

4 おわりに

令和6年度の主要な施策の実現にあたっては、白糠町教育行政のスキームと実践プランを検証しながら、着実に推進していくことが重要だと考えています。

ロシアの文豪トルストイは「幸せの第一条件の一つは、人間と自然とのつながりが破壊されていないことである」という言葉を残しています。この言葉は白糠町の教育を示す象徴的な言葉であると考えます。本町で進めるふるさと教育や環境教育は、子どもたちが自己の生活と地域の自然を含めたモノ・コトとのつながりを問い直し、未来の幸せのため理想的なつながりとは何かを模索し、それを強固なものとする取り組みといえるからです。

私たち教育委員会は、子どもたちが幸せな未来を切り拓き、持続可能な社会づくりに貢献できるようにするため、率先垂範し、学校・地域・家庭と協働的に取り組み、今後一層ふるさと教育を基軸としながら、新たに環境教育の充実を図っていきたく考えています。